

いしかわ農業法人だより

Ishikawa Agriculture Corporation Magazine

発行 石川県農業法人協会 いしかわ農業総合支援機構内 発行人 佛田利弘
〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目20 TEL076-225-7621 Fax076-225-7622

新たに2法人がアグリサポート会員に加入

1月15日（水）に第5回理事会を開催し、アグリサポート会員としての加入を希望していた株式会社アグリライン石川（代表取締役：竹田直人氏）及び株式会社米心石川（代表取締役：柳生利裕氏）の入会を満場一致で承認しました。株式会社JAアグリライン石川様から「新技術・資材等栽培関連の情報提供の他、研修会への参画、会員皆様との情報交換を通じて、地域農業及び会員各位の発展に貢献したい」、また株式会社米心石川様からは「農産物の流通形態の多様化や需要環境が不透明である中、食品製造業を営む弊社として、先進的な農業法人との情報交換など連携を図ることで、石川県の農業発展に貢献したい」とコメントいただきました。

河二利勝氏が若手農業経営者コンクール北信越代表に選出

1月20日（月）の北信越ブロック会長・事務局会議にて若手農業経営者コンクール北信越ブロック代表選考会が行われました。（有）かわにの河二利勝氏が北信越代表者として選出され、3月5日に開催される日本農業法人協会20周年記念式典において20年後の経営ビジョンをテーマに発表することとなります。選考会に出席した佛田会長は「前回の選考会時より内容がブラッシュアップされていた。何よりも元気な声でプレゼンしていたことが良かった。目標に掲げた数値に向かってより一層の精進を期待している。」とコメントしています。



会長会議にて発表する河二氏

谷本知事の新年互例会に参加

1月2日（木）、金沢市のニューグランドホテルにて開催された谷本知事との新年互例会に理事11名が参加し、知事との挨拶を行い、大変有意義な時間を過ごしました。

初の賀詞交歓会を開催

石川県農業法人協会 令和元年度コンセプト Alliance・Farming～繋がる農業～



令和2年1月15日（水）に金沢市のマリエールオークパインにて当協会主催の賀詞交歓会が開催されました。総勢98名が参加され、会場は大いに盛り上がりました。当協会として賀詞交歓会は初の試みであり、冒頭に佛田会長は「昨年は多くの県内農業者がさまざまな賞を受賞された。これもご協力頂ける皆様のお力添えがあってからこそであり、この親密な関係性をより高め、協会としても諸先輩方に続くような経営発展を目指したい」と挨拶しました。アグリサポート会員様からは「石川県内には多種多様な農業経営者がいる。まだまだ存じ上げない方もいらっしゃるのでこのような機会をきっかけに皆様に寄り添えるように精進したい。今日のような会があれば色々な方々と出会える。これは大変素晴らしいことだ。」と継続を要望するご意見を頂きました。

佛田会長ご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。石川県農業法人協会会長の佛田です。今回、新しく開催することとしました賀詞交歓会では、我々農業法人の正会員と、農業団体をはじめとする賛助会員、石川県の農業に関係する企業等のアグリサポート会員そして関係機関の皆様が、新年のあいさつに加えて、交流・懇親を深めていただき、法人協会のネットワークをさらに強固なものとしていただければと思います。農業をとりまく構造変化も合わせて、予断を許さない環境において、現場での取組が重要と考えています。6月からの新体制では、県内5地区での会員に寄り添った経営課題の掘り起こしと、その解決する意見交換を農林事務所、JAグループ等の関係者の皆様と取り組み始めたところです。

第5回理事会で米心石川様、アグリライン石川様のアグリサポート会員の承認が行われ、7月の全農いしかわ様、12月の興能信用金庫様の承認と合わせると、正会員65会員、賛助会員6会員、アグリサポート会員11会員となりました。本年も、ご来場の会員関係各位のご協力ご支援を頂き、協会として、会員自らの経営改善はもとより、農政改革、地域の農業の発展に資するよう関係者の皆様と協力して取り組みたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

石川県農業法人協会 会長 佛田利弘

アグリサポート会員様との勉強会

令和2年1月15日(水)、金沢勤労者プラザにて当協会のアグリサポート会員様による勉強会が開催されました。

まずは、JA三井リース株式会社金沢支店様によるリース事業の取り組みについて、生産コスト低減に繋がるローカルシェアリング(ブームモアの使用等)の運用の仕方や農機シェアの方法等のご提案がありました。会員からは必要な機械を必要な時だけ利用したいとの声があったが、JA三井リース様からは究極のリースはそれだが、農機シェアリングが今できるベストな提案であると示し、今後皆様との意見交換しながら新しい事業を考えていきたいとのことでした。続いて、渡辺パイプ株式会社様より災害対策と強いハウスについての勉強会を行い、ハウスの被害の実態(約8割が風による被害)や部位別の被害状況(約4割がフィルム)、被害発生のメカニズム等の説明があり、ハウス新設時の注意点や通常吹きやすい風向き等を考慮してハウスを設置する必要があるとご教授していただきました。



勉強会の様子



勉強会に参加した法人会員

奥能登ワンチーム体制で勉強会を開催



写真：奥能登農林総合事務所での勉強会の様子

昨年12月19日(木)に奥能登地区において第2回目となる地区活動が開催されました。前回の開催では同地区内の課題の共有がメインであったことに対し今回は参考範囲を広げ、非会員やJAグループ、行政も参加したまさに三位一体となる勉強会スタイルでの開催となりました。

当勉強会では農産物の増収に結び付く土づくりを㈱アグリライン石川の塩口技術顧問から講義頂いたほか、JAグループからの情報提供等、大変有意義な会合となりました。今回の勉強会に際し宮崎副会長からは「農業者間はもとより、横の繋がりをより強化できたと感じた。また、水稻以外を主要作物とする農家からも技術面において非常に良いアドバイスを頂いた。参加された方々から前向きな意見が出されたことは、奥能登地区にとって重要なこと。次回はスマート農業に関連した技術や活用方法を学び、今後の営農をより効率化していきたい。また、異業種の方々とも勉強会をしてこの輪を更に大きくしていきたい。」とコメントし、今回の勉強会に手応えを感じると同時に既に次のステップを見据えた準備を進めていました。

農業経営の安定に向けたセーフティネットを学ぶ

令和2年1月15日(水)、農林水産省経営局農業経営収入保険室の窪山富士男室長、全国農業共済組合連合会統括参事の高橋仁志様をお招きし、収入保険制度についての勉強会を開催しました。勉強会には協会会員の従業員や石川県職員、NOSAI石川も含め約40名が参加しました。現在、収入保険制度に加入していない農事組合法人和多農産(能美市)の和多代表理事からは「現状ナラシ対策に加入しているが、今日の勉強会を経て収入保険への理解がより一層深まった。また、自社におけるリスクと擦り合わせるとこちらの保険の方が魅力的だ。8月が決算期なので役員を含めてゆっくりと考えたい。さっそくシミュレーションし加入に向けた検討したい」と前向きな意見をいただき、モチ加工等の6次産業化を手掛ける株式会社林農産(野々市市)の林社長からは「今回の勉強会でナラシ対策や農業共済制度との違いが明確になった。林農産は加入要件を満たしているから期首の9月までに一度シミュレーションした上でNOSAI石川にも相談し、検討したい。民間の保険にも多様な商品が存在するが農業経営の中に未曾有の災害を想定しなければいけない。」とコメントいただきました。



窪山富士男室長



高橋統括参事



真剣に聞き入る参加者

～お知らせ～

農業経営技術分野セミナーの開催について

令和2年2月6日(木)、JA石川教育センターにて全農石川県本部及び当協会の共催で農業経営技術分野セミナーが開催されます。

詳細は別紙に記載しておりますのでご参照ください。

また、会員の皆様におかれましては、従業員を含め近隣の農業経営者にお声かけいただき、お誘いあわせの上ご参加いただけましたら幸いです。よろしくお願ひ致します。



日本農業法人協会設立20周年記念式典の開催について

令和2年3月6日(木)に、(公社)日本農業法人協会設立20周年記念式典並びに第40回総会(臨時)・春季セミナーが開催されますので、会員の皆様におかれましては、是非ご参加のほどよろしくお願ひいたします。以下、詳細になります。

- 日 時：(ア) 設立二十周年記念式典、祝賀パーティー 令和2年3月5日(木) 13:00～18:30
(イ) 第40回総会、春季セミナー 令和2年3月6日(金) 9:00～11:45
- 場 所：(ア) 東京プリンスホテル 2F 「鳳凰の間」等(東京都港区芝公園3-3-1)
(イ) A-PLACE新橋(新橋駅前) 3F 「A」(東京都港区新橋1-12-9)

3. スケジュール

【3月5日(木)】

<設立二十周年記念式典>13:00～16:30

- 開会・挨拶
- 来賓祝辞
- 20周年記念出版物「農業で社長！」完成お披露目会
- 功労者表彰
- 若手農業者コンクール「夢コンテスト2040」

<祝賀パーティー>17:00～18:30

【3月6日(金)】

<第40回総会(臨時)>9:00～10:05

- 開会・挨拶
- 来賓祝辞
- 議案：理事の補充・選任に関する件
- 報告：①令和2年度事業計画について、②令和2年度収支予算について 等
- 情報提供

<春季セミナー>10:15～11:45

『夢の実現～挑戦することの大切さ～』

講師：古賀稔彦氏 バルセロナ五輪柔道金メダリスト、古賀塾塾長、医学博士

令和2年2月6日（木） 農業技術経営分野セミナー

場所：JA教育センター

対象：石川県農業法人協会会員、法人経営者様、個人農業経営者様

全農石川県本部・石川県農業法人協会共催

セミナーの内容

・アグリライン石川の経営資源の最大活用 13:00～

収量の最大化及び生産費の低減並びに品質の向上に役立つ土づくりと肥培に関する施肥や土壤改良に関する技術とその資材をテーマに開催されます。

・雑草・殺虫殺菌等の農薬抵抗性解消について 14:00～

生産性の最大化に役立つ除草剤や殺虫殺菌剤に使用技術 及びジェネリック農薬の普及状況とその課題をテーマに開催されます。

・スマート農機による収益の拡大について 15:00～

農作業事故対策やアタッチメント公道走行の安全管理、スマート農機の導入による管理作業の効率化や共同購入トラクターの利便性をテーマに開催されます。

・低成本型ハウスの導入方法について 16:00～

ビニールハウスや農舎等の低成本化の取り組みや米袋・フレコン・段ボール・パレット等の物流資材の有効な利用方法をテーマに開催されます。

・Z-GISを利用したGAP導入及び生産管理について 17:00～

農業経営の管理作業全般の効率化と社会の変化に耐えうるGAP等の導入、Z-GISの優位性、農業求人システムの概要をテーマに開催されます。

※内容に変更がある場合がございます。予めご了承下さい。本セミナーへの問い合わせは石川県農業法人協会事務局までお願い致します。



本だより配布対象 会員・賛助会員・アグリサポート会員・各関係機関
会員の皆様へ

「いしかわ農業法人だより」のメール配信を希望する方は、協会事務局の（南出、島田、吉田）までご連絡お願い致します。
e-mail : syogo-y@inz.or.jp